

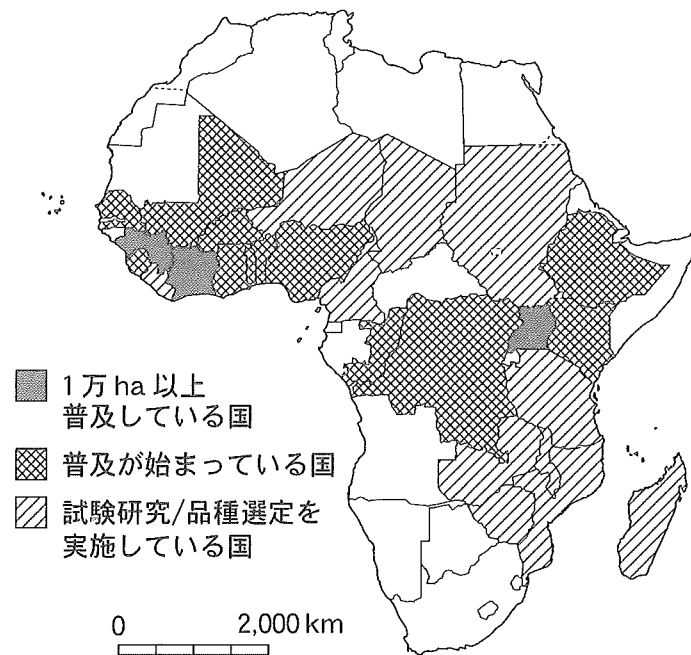
1 農業と食料に関する以下の設問に答えよ。

問 1 次の文章のうち、空欄 A ～ D に当てはまる語句を答えよ。

農業の生産性は、技術革新により向上してきた。化学肥料や農薬の普及、品種改良によって単位面積当たりの生産量(額)は増大し、 A 生産性は上昇した。また、農業機械の大型化や自動化は農作業の省力化を促し、 B 生産性を高めることに貢献した。

農産物を工業のように合理的に生産する動きは、20 世紀に入って先進国に広がった。農業の工業化を代表するのは、大規模化・専門化が進む南北アメリカやオーストラリアの C 農業である。多くの資本と最新の農業技術を投入して、生産をおこなう C 農業は、少数の大規模経営に集中する傾向がある。また、現代の農業は、食料の生産から流通・消費にいたる食料供給体系である D と深くかかわっている。そして、アグリビジネス(農業関連企業)が D 全体を統括して経営をおこなうことにより、農業資材を供給する地域、生産や飼育を担う地域、農産物(食料加工品)が消費される地域が、それぞれ国境を越えて結び付き、食料供給のグローバル化が進展している。

問 2 下の図は、ネリカ米の普及状況を示したものである。サブサハラアフリカの食料・農業問題を説明するとともに、ネリカ米の特性と日本の技術支援について説明せよ。



※国境線は下記の論文刊行時のものとしている。

藤家 斉ほか「ネリカ普及の現状と要因」(2010)により
作成。

問 3 遺伝子組み換え作物(ゲノム編集を除く)について説明した文として適当でないものをイ)～二) から 1 つ選び、記号で答えよ。

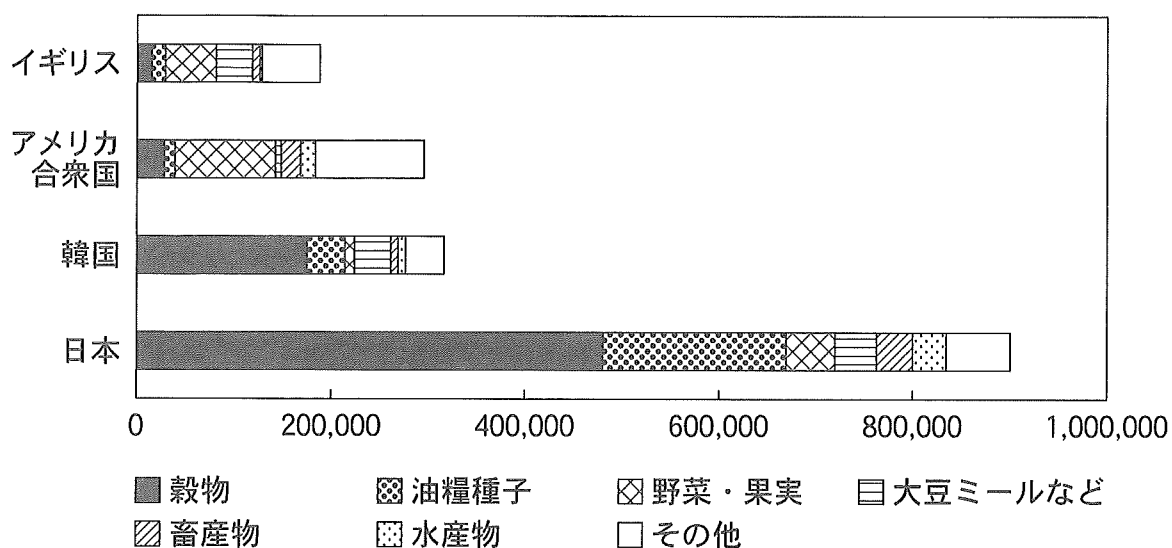
イ) 対象とする生物の細胞に人為的に他の生物の遺伝子の一部を導入することで、外部から挿入した遺伝子の性質を発現させる技術が用いられている。

ロ) 生態系への影響や食品・飼料としての安全性を懸念する意見も多く、ヨーロッパでは栽培が行われていない。

ハ) 遺伝子特許によって種子の生産・販売を独占する問題などが指摘されている。

二) 遺伝子組み換え作物の栽培は、南北アメリカや南アジアの国々で積極的に導入されており、インドの綿花(ワタ)やブラジル的大豆栽培において顕著に普及している。

問 4 下の図は、2001 年におけるイギリス、アメリカ合衆国、韓国、日本の輸入食料のフード・マイレージの総量を示したものである。この図をもとに、次の 2 つの問い(X・Y)に答えよ。なお、問題の性質上、図中の単位は表示していない。



中田哲也『フード・マイレージ[新版]あなたの食が地球を変える』(2018)により作成。

X 日本の輸入食料のフード・マイレージの高さについて、理由を含めて説明せよ。その際、品目にふれること。

Y 人口 1 人当たりの輸入食料のフード・マイレージを計測した場合、日本と比較して、イギリス、アメリカ合衆国、韓国の数値は、上の図と比べ、どのように変化するか説明せよ。

問 5 日本では、各地の自然や気候、社会条件や立地環境の下で多様な農業が営まれている。下の表は、茨城県、京都府、静岡県、長野県、新潟県の人口と農業に関する統計データを示したものである。表中のA～Eにあてはまる府県名を答えよ。

	住民基本台帳 人口：2023 年	耕地面積に占 める田の割合 ：2022 年	農業産出額に 占める果実の 割合：2021 年	カロリーベース の食料自給率 ：2020 年度
A	353 万人	35.4 %	13.5 %	15 %
B	280 万人	58.9 %	2.8 %	68 %
C	243 万人	78.0 %	2.9 %	11 %
D	215 万人	88.8 %	4.0 %	111 %
E	201 万人	49.1 %	33.2 %	51 %

二宮書店『データブック オブ・ザ・ワールド』(2024),
農林水産省ホームページ「都道府県別食料自給率について」により作成。

2

オセアニアに関する以下の文章を読み、設問に答えよ。

オセアニアは、オーストラリア大陸とニュージーランドなどの太平洋の島々を含む、ミクロネシア、メラネシア、a の3つの地域からなる。

観光業は、オセアニアの重要な産業である。オーストラリア大陸の北東部の沿岸には、世界最大のサンゴ礁であるb が広がっている。太平洋の島々の多くは熱帯に属し、浅く透明な海域にサンゴ礁が発達しており、人気の観光地となっている。しかし、水質の悪化などによるサンゴの白化現象がみられるほか、標高の低い島々では海面上昇による土地の水没がおきるなど、深刻な環境問題が生じている。⁽¹⁾

ニュージーランドは環太平洋造山帯に属し、地震・火山活動が活発である。首都のc がある北島と、南北にd 山脈が連なる南島からなり、南島では山脈の西側と東側で気候が大きく異なる。⁽²⁾ マオリとよばれる先住民が独自の生活文化を営んできたが、1840年にイギリスとの間でe 条約を締結し、イギリスの保護領となった。植民地化に抗する民族運動が行われてきた結果、現在ではマオリの伝統的な文化を尊重し、権利を保護する取り組みが進められている。⁽³⁾

ニュージーランドは、酪農を中心とした農業が盛んであり、チーズ・バターなどの乳製品や羊肉・牛肉が重要な輸出品となっている。イギリスへの輸出が多かったが、1970年代になると減少し、新たな市場を開拓しなければならなかった。⁽⁴⁾ 貿易や投資の自由化を促進し、経済・技術協力などの活動をはかることを主な目的として、1989年にアジア太平洋経済協力(APEC)が結成された。ニュージーランドは設立当初にメンバーとなり、現在はAPECの加盟国への輸出が増している。⁽⁵⁾

問1 文中のa ～ e に当てはまる語句を答えよ。なお、c には都市名が入る。

問2 下線(1)に関して、こうした現象が生じている理由を説明せよ。

問 3 下線(2)に関して、山脈の西側の気候の特徴について、理由を含めて説明せよ。

問 4 下線(3)に関して、オセアニアでの民族共生の取り組みの説明として適当でないものをイ)～ニ)から1つ選び答えよ。

イ) マオリ語はニュージーランドの公用語であり、マオリ語を保存する取り組みが行われている。

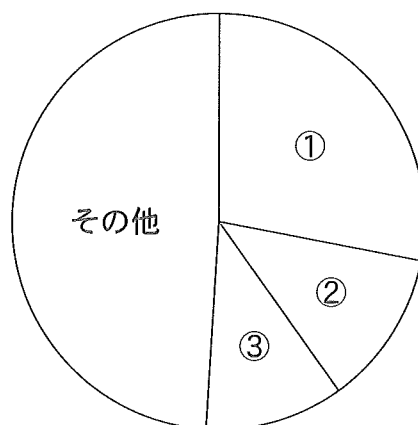
ロ) イギリス統治下において、マオリの土地は没収されたり買収されたりしたが、土地の返還による権利の復権が進められている。

ハ) オーストラリア大陸の中央部にある巨大な一枚岩のウルル(エアーズロック)は、先住民アボリジナル(アボリジニ)の聖地であり、現在は登山が禁止されている。

ニ) アボリジナル(アボリジニ)の多くは、都市から離れた先住民のみが暮らす地域で伝統的生活を営んでいる。

問 5 下線(4)に関して、イギリスへの輸出が減少した理由を説明せよ。

問 6 下線(5)に関して，下の図は，2022 年におけるニュージーランドの輸出相手国の構成比を示したものである。輸出額の上位 3 か国 (①～③) に当てはまる国名の正しい組み合わせを A～C から 1 つ選び，記号で答えよ。



二宮書店『データブック オブ・ザ・ワールド』(2024)により作成。

	①	②	③
A	オーストラリア	中 国	アメリカ合衆国
B	中 国	オーストラリア	アメリカ合衆国
C	アメリカ合衆国	オーストラリア	中 国

3 北ヨーロッパに関する以下の設問に答えよ。

問 1 スウェーデンは鉄鉱石を冬季にノルウェー北部を経由して輸出する。その理由を説明せよ。

問 2 ノルウェーの海岸部にはフィヨルドがみられる。フィヨルドの特徴を、三角江(エスチュアリー)と比較して説明せよ。

問 3 アイスランドは2つのプレートの境界上に位置する。その2つのプレートの名前を答えよ。

問 4 下の表は、2021 年におけるデンマーク、アメリカ合衆国、ウクライナ、カナダの発電量構成比率の上位 2 項目を取り上げたものである。A～Dに当てはまる国名を答えよ。

国名	発電量構成比率(%)の上位 2 項目
A	原子力(54.6 %), 火力(32.3 %)
B	風力(48.6 %), 火力(33.0 %)
C	水力(59.5 %), 火力(18.0 %)
D	火力(60.8 %), 原子力(18.6 %)

二宮書店『データブック オブ・ザ・ワールド』
(2024)により作成。

問 5 下の表は、2022 年における日本の「豚肉」、「さけ・ます」、「木材」の輸入額と各品目の輸入相手国の上位 5 か国を示したものである。①～③に当てはまる国名として正しい組み合わせを A～F から 1 つ選び、記号で答えよ。

品名	輸入額(億円)	輸入相手国※
豚肉	5,536	アメリカ合衆国(24.5), カナダ(22.6), スペイン(18.2), メキシコ(13.4), ① (8.6)
さけ・ます	2,783	チリ(57.8), ② (20.7), ロシア(7.7), アメリカ合衆国(3.9), トルコ(3.1)
木材	5,479	カナダ(22.8), アメリカ合衆国(18.2), スウェーデン(11.6), ③ (10.8), ロシア(10.3)

※()内は、それぞれの品目の輸入額に占める各国の割合(%)。

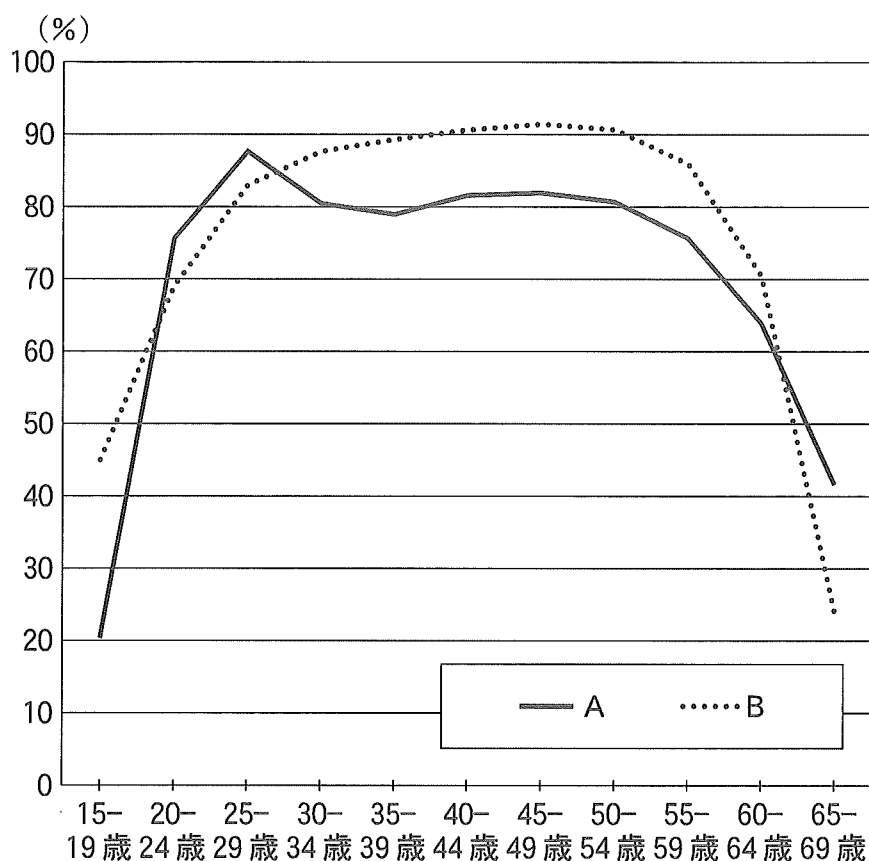
二宮書店『データブック オブ・ザ・ワールド』(2024)により作成。

	①	②	③
A	フィンランド	デンマーク	ノルウェー
B	デンマーク	ノルウェー	フィンランド
C	フィンランド	ノルウェー	デンマーク
D	ノルウェー	フィンランド	デンマーク
E	デンマーク	フィンランド	ノルウェー
F	ノルウェー	デンマーク	フィンランド

問 6 以下のイ)～ホ)の言語のうち、ゲルマン語派(語族)ではないものすべてを選び、記号で答えよ。

- イ) アイスランド語 ロ) スウェーデン語 ハ) デンマーク語
 ニ) ノルウェー語 ホ) フィンランド語

問 7 下の図は、2022 年におけるスウェーデンと日本の女性の年齢階級別労働力率[※]を示している。図中の A と B に当てはまる国名を答えよ。また、以下の文章を読み、文中の a ～ c に当てはまる語句を答えよ。



※各年齢階級の人口に占める労働力人口の割合。スウェーデンは OECD『Labour Force Statistics』(2023 年 9 月)、日本は総務省統計局『労働力調査(基本集計)』(2023 年 1 月)の値。独立行政法人 労働政策研究・研修機構『データブック国際労働比較 2024』により作成。

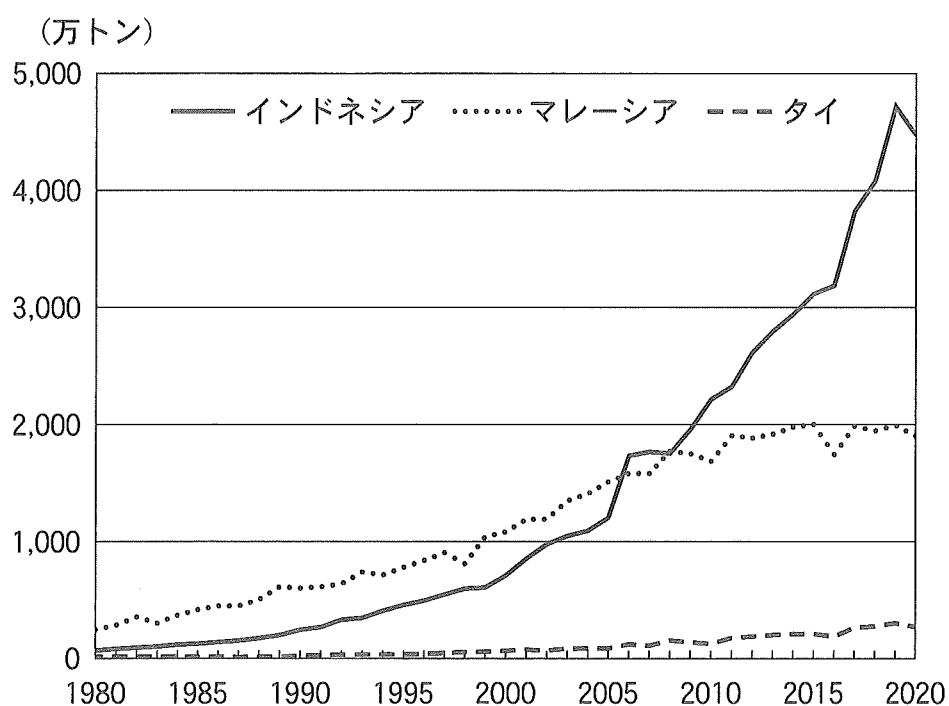
晩婚化や非婚化、養育費の上昇、価値観の変化などを背景に、図中の
A では a が進行している。一方で、比較的早い時期に
a が進んだ B では a 対策に積極的に取り組み、合
計特殊出生率の回復傾向がみられた。A では 30 代前後の女性の就
業率が比較的低いのに対し、B では比較的高い。女性の就業率の高
さは、仕事をもつ女性の支援や男性の育児休業・休暇制度、保育サービスの
充実などによって支えられており、性別・年齢にかかわらず誰もが働きやす
く、暮らしやすい仕組み・社会をつくる b の実現が合計特殊出生率
の維持や回復に一定の効果をあげていることがうかがえる。c 格差
の是正も重要である。A の c ギャップ指数(2024 年)は 146
か国中で 118 位であるのに対し、B は 5 位であり、B では
c 平等がより実現されているといえる。

4 インドネシア経済に関する以下の文章を読み、設問に答えよ。

1945 年に から独立したインドネシアは、経済的には農業や鉱業な⁽¹⁾どの天然資源に長く依存してきた。しかし、1980 年代に原油価格が大きく下落したことなどから、それまでの輸入代替型工業化から 工業化へとその工業化政策を変更し、経済の国際化を図った。その一環として 1980 年代後半以降、関税の削減や非関税障壁の撤廃など、貿易の自由化が進められた。東南アジア域内での経済連携を目的に 1993 年に創設された , 1994 年の GATT ・ラウンドの合意、1995 年の WTO 発足なども、インドネシアの貿易自由化を後押しした。1997 年の によりインドネシア経済は大きく混乱したが、その後は順調に経済成長を続け、2019 年に世界銀行の所得水準別⁽³⁾分類で初めて上位中所得国に位置付けられた。さらに、2024 年には先進諸国から構成され、発展途上国の経済援助などを通して世界経済の発展に貢献することを目的とした国際機関である への加盟に向けた協議が開始されることが決まった。

問 1 文中の空欄 ～ に当てはまる語句を答えよ。

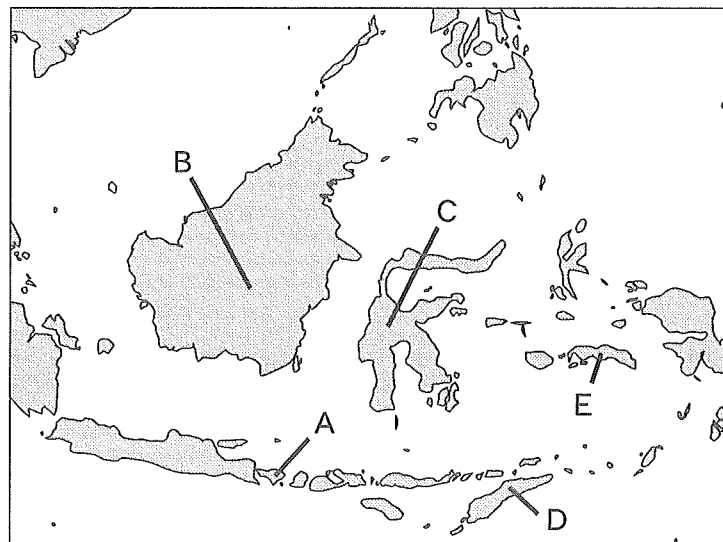
問 2 下線(1)に関して、下の図は、ある農産物を原料とする工業製品の生産量上位3か国(2020年)における生産量の推移を示したものである。この工業製品の名前を答えよ。また、原料となる農産物の生産は、現在、インドネシアなどで環境問題を引き起こしている。その農産物の名前を述べ、それがどのような問題なのか説明せよ。



FAOSTAT により作成。

問 3 以下の文章①～③は、インドネシア周辺の島に関する説明である。該当する島を下の図の A～E から選び、記号で答えよ。

- ① インドとは異なる独自のヒンドゥー教がこの島で発展した。また、この島には世界遺産に登録された棚田が存在する。
- ② この島には 1975 年から 2002 年までインドネシアに支配された国がある。
- ③ インドネシアの首都をこの島に移すことが 2022 年に決められた。



問 4 インドネシアでは都市の過密対策として、ジャワ島などから人口が低密な島への移住を促し、農業や資源開発による地域格差の是正を目指す政策が実施された。その政策の名前を答えよ。

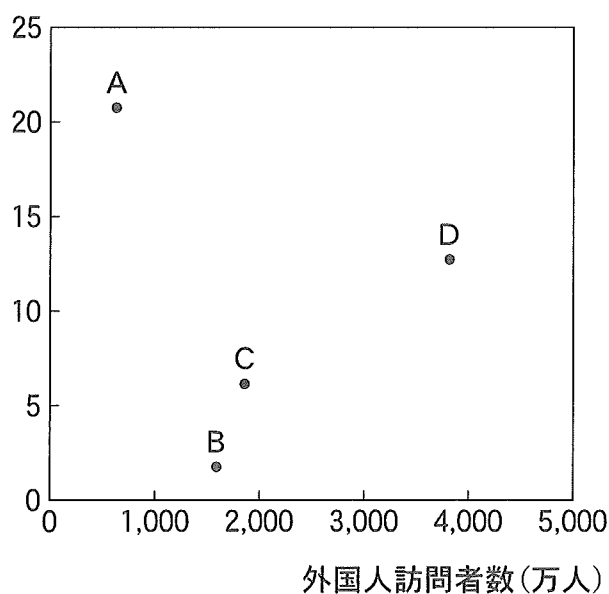
問 5 下線(2)に関して、部品など中間財の貿易自由化は、近年、工業生産において重要な役割を果たしている。その理由について、「生産工程」と「国際分業」の 2 つのキーワードを使用して説明せよ。

問 6 下線(3)に関して、次の2つの問い(X・Y)に答えよ。

X 世界銀行の所得水準別分類では1人当たり国民総所得(GNI)が用いられるが、国の経済規模を表す指標としては国内総生産(GDP)もよく用いられる。GNIとGDPについて、それぞれの違いが分かるように説明せよ。

Y 発展途上国における経済発展などを理由に、近年、海外旅行者数は世界的に増加傾向にあり、観光産業の経済的役割の重要性も高まっている。下の図はインドネシア、カンボジア、シンガポール、タイの4か国について、2018年における外国人訪問者数とGNIに占める国際観光収入の割合を示したものである。インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイに該当するものを図中のA～Dから選び、記号で答えよ。

GNIに占める国際観光収入の割合(%)



World Development Indicators により作成。